甘楽町広報

年11月15日　（毎月15日発行）　第60号【1頁】

11月の納税

1.固定資産税 才4期

2.国民健康保険税 才5期

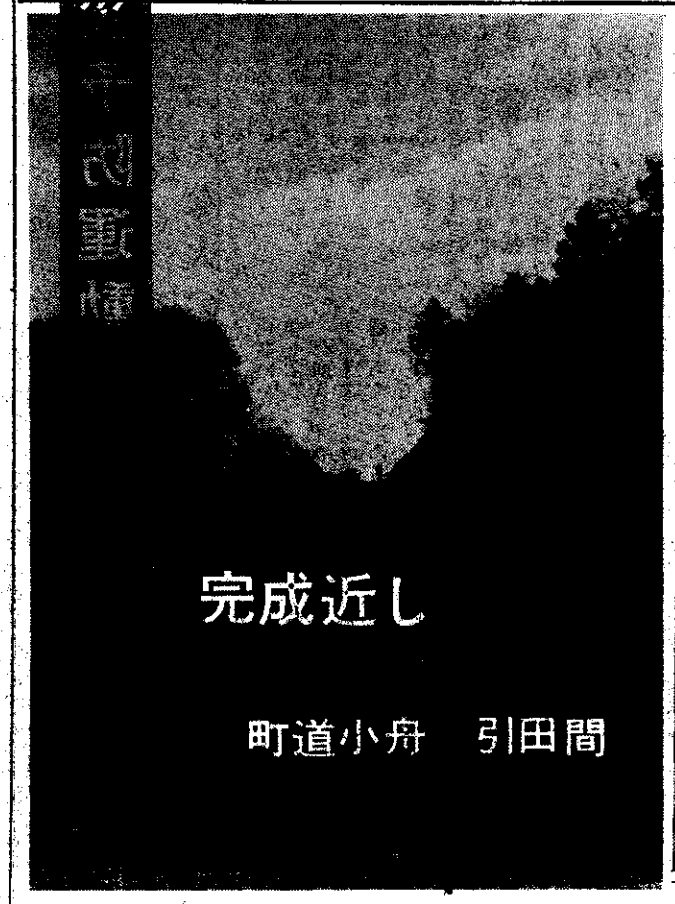
11月1日の人口と世帯

世帯数	2,690戸
男	6,958
女	7,318
計	14,276

発行所　群馬県甘楽郡甘楽町大字小幡甲852　甘楽町役場　電話（小幡）4番・44番・49番

編集　総務財政課　企画文書係

印刷所　坂本印刷株式会社



自衛隊協力会を設立

来賓に師団長ら多数を迎え

十月三十日に中央公民館で甘楽町自衛隊協力会の設立総会が開かれました。総会には第十二師団長や、自衛隊幹部十数名と、県地方課長もお見えになり、お祝いの言葉を述べられました。

"文化社会"と、こんな言葉もよくみんなにささやかれる世の中になったのに、動物園のかわいい白鳥や、くじゃくたちに石を投げたり、なかには石をたべさしたりする心ない人がいることを、いつかの新聞で知らされました。

このように、わたくしたち日本の国にも、いつ石が投げられるかわからないようなうずが、ときどき世界のどこかに起りかけるのは、ほんとうに悲しいことです。

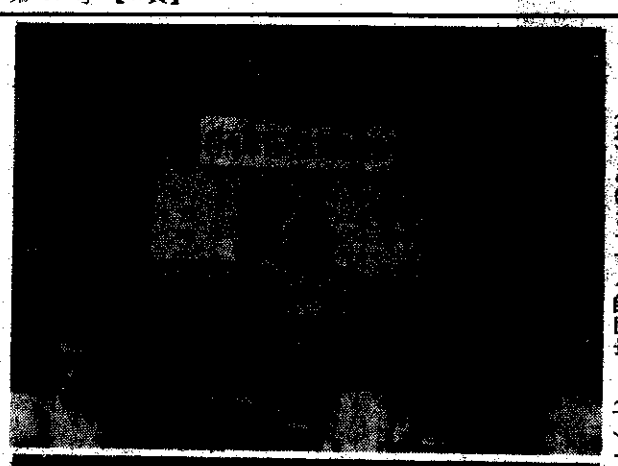
一匹の昆虫ですら、自分の身を守る方法や武器を持っていますが、といって国民が戦国時代のように、武器で身をかためて、毎日を送るわけにはいきません。

国民の中から、選ばれてわたくしたちに代わって、わたくしたちの明るく楽しい暮らしをお守りしてくださる、これが自衛隊です。

町では、この自衛隊に平素たいへんおせわになっております。

小幡忠霊塔の建設や、今回は多年の念願であった町道小幡～多胡線の改修に、第十二師団長大隊の作業隊の派遣を願って、ご協力いただいております。

このような、状況でありますので、この際さらに自衛隊と甘楽町との相互理解を深め親ぼくをはかるとともに、自衛隊の健全な発展に少しでもお役にたてばということで"甘楽町自衛隊協力会が結成されました。



（左）あいさつする師団長　（下）工事現場を視察する師団長（左から四人め）

一中のブラスバンドで開会

設立総会は、議会議員、区長、自衛隊父兄会、婦人協力会、郷友会、青年団、商工会教育委員会などの代表者一〇八名が参加し、午前十時、第一中学校生徒によるブラス・バンドの君が代吹奏によって開会され、協力会の規約、三十九年度の予算、事業計画などが決定されました。

また、次の役員が選ばれました。

会長　議会議長　柴山俊一（現議会議長）さんをはじめ、次の方がたが選ばれました。

会長　議会議長　柴山俊一
副会長　区長会長　野本一雄
〃　婦人協力会長　八木せん
理事　自衛隊父兄会長　黒沢長治郎
〃　郷友会長　桑原不十郎
〃　遺族会長　浅香種作
〃　教育委員長　茂原嘉久外喜
〃　商工会長　飯塚勝久
〃　青年団長・松浦幸雄
監事　議会議員　浅香丑太郎
〃　区長　小菊丑五郎
〃　婦人協力会　森平きぬ

会長に柴山さん

協力会の役員には、柴山俊一（現議会議長）さんをはじめ、次の方がたが選ばれました。

師団長ら現場を視察

十月三十日の甘楽町自衛隊協力会設立総会に出席するため来町した第十二師団長は、この朝、午前八時五十分に小幡多胡線改修工事の作業隊寄宿舎（上野公民館）にたちより、藤岡作業隊長の説明をきいたあと、作業現場にむかいました。

「総数十二名、全員元気で作業に励げんでおります！」現場指揮官の報告に、大きくうなづかれた師団長は、ブルドーザのエンジンの音か、くっきりと晴れた青空に心地よくこだまする作業現場をみつめながら、もののみごとに進行した作業状況を、約四十分間にわたってつぶさに見学し満足のようすで現場を引きあげました。

見る人・聞く人

自衛隊の早わざに感ぷく

10月7日に自衛隊の手によって作業がはじまった小舟～引田間の町道改修工事は、ひじょうに急ピッチですすみ、計画の12月5日を待たず、11月20日ごろは完工することになりました。

上の写真をご覧ください。小舟の山がまっぷたつに割れました。いちばん深く堀り下げられたところは14メートルもあります。このあたりはかたい岩石が多く、作業が難行したようです。それでも、実作業40日たらずで、ここに5メートル幅のりっぱな道路が作られ、大型自動車でもスイスイ通れるようになってしまうのですから、全く、自衛隊の強力な機械力でなくてはできぬ早わざです。

この工事を見る人も、聞く人も、自衛隊のすばらしい力に感ぷくするのも、至極当然といえましょう。

青年よ！きたえよ身心と技術を…

ただいま陸・海・空自衛官を募集中です。

役場に消防援助隊

隊員十七名で結成

役場職員による消防援助隊が、十月二十六日に結成されました。県内で四番目の役場職員による消防組織です。

この消防援助隊結成の理由は、最近、消防団員が昼間は家を離れて勤めに出るなどで不在になることが多いので、それをおぎなうためにつくられたものです。したがって、援助隊員は日常事務に勤務中の火災のみに出動し、消防団長の指揮のもとで、火災によ

防ぎよ訓練説明をきく隊員達

る被害を最少限にくいとめるため活動します。

援助隊は、隊長以下十七名で組織され、町長の任命によって、十月二十六日に小幡忠霊塔広場で結成式をあげました。

消防援助隊を代表し、小柏隊長が「わたくしたちは、ただいま町長から消防援助隊員の委嘱を受けました。今後は現在与えられている本来の職務に専念する一方、消防援助隊の目的をよく理解し、日常、消防技術の練摩に努め、消防団との連けいを密にして一朝有事にあたっては、遺憾なく、その職責を全うすることを誓います」と力強く宣誓し、さっそく火災防ぎよ訓練にとりかかりました。

いずれの隊員も、役場を代表するつわものぞろいで、そろいの消防帽に消防ハッピ、消防ズボンに身をかため、白い手袋・長ぐつ備えたいでたちは、なかなかの名消防士ぶりで、今後の活躍が期待されます。

消防援助隊員名

隊長	小柏茂
副隊長	桜井三郎
第一班長	加藤悟
〃	鈴木道夫
隊員	吉田浩
〃	梅沢節夫
〃	高橋弘
第二班長	細井勝次
隊員	松井千明
〃	島田克夫
〃	高橋多丸
〃	落合伸夫
第三班長	佐藤実
隊員	篠原貞夫
〃	佐藤忠男
〃	黛哲夫
〃	安藤幸隆

花を持って自衛隊員を慰問

VYSの女生徒たち

VYSのみなさん、つまり「自分からすすんで社会事業を行なう青年の会」の皆さんは、自衛隊の作業隊の宿舎をおとずれて、一週間おきぐらいにきれいなお花を贈り、隊員からとっても喜ばれています。

また、この人たちは、十月二十九日にもお花を持って宿舎をおとずれましたが、ちょうど、隊員たちが寝ざ[illegible]

清掃しているところだったので、さっそくお手伝いをしました。

青少年の非行化など問題の多い人たちのなかにも、このように美しい心をもつ皆さんがたくさんいることは、ほんとうにうれしいことです。

この日隊員を慰問し、お手伝いくださった方は、次のとおりです。

堀口輝夫さん（上野）、北村和子さん、角倉京子さん、山田礼子さん、高橋英子さん（以上小幡）、土屋久美子さん、土屋愛子さん（善慶寺）（白倉）

裁判費用がなく困っている人に

正しい権利を主張したいが金がないため権利の主張ができず、困っている人はいませんか。

このような方のために裁判費用（弁護士の手数料なども）を立て替え、または免除される制度が、群馬弁護士会の中にあります。

これの申し込み方法などくわしいことの相談は、前橋地方法務局、または、その支局や人権擁護委員が取り扱っています。

お困りの方は、お気がるに相談してください。

甘楽町には、次の人権擁護委員がいます。

堀口正雄さん（小幡）
高橋健治さん（金井）
近藤祐三さん（福島）
増田安重さん（秋畑）

タバコは町内で買いましょう

県税の相談は……

県税の課税や徴収についてくわしく知りたいときや、不服・疑問があるときは、富岡財務事務所へご相談ください。

とくに毎月15日（日曜祭日の場合は16日）は相談日として係員が責任ある相談に応じています。

なお、個人の県民税については役場でご相談に応じます。

……毎月15日に